

佐久市駒の里過疎対策プロジェクト支援金事業 自己評価報告書

		評価日	平成29年1月31日
団体名	多津衛民芸館運営委員会		
事業名	地域文化育成普及事業		
対象経費	1,587,899円	支援金額	597,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>日常使う陶磁器や木製品・布などの中に美を見出し、人々の暮らしの豊かさを求めた民芸運動は、信州でも大きな広がりを見せたが、佐久市出身の教師小林多津衛はその運動の中心的な一人であった。その功績を地域に広めることにより、佐久地方の文化向上に役立ちたい。そして佐久の文化を全国に広めたい。</p> <p>佐久地区で活躍する工芸家や音楽家を広く紹介する機会を作り、さらに市民に広く呼びかけ、市民参加の行事を多く実施する。</p> <p>また、本年度は、全国規模の「日本民藝夏期学校」が当館で開催される。これは、民芸の世界で佐久市が高く評価された結果である。この機会に佐久市の文化をさらに全国発信し、交流人口の創出につなげたい。</p>
	<p>内容</p> <p>①地元工芸家や、県内工芸家の作品を展示する作品展示会開催 ②地元音楽家のコンサート開催 ③地域の文化や暮らしなどを取り上げた冊子の発行 ④民芸運動や地域づくりなどに関する講演会学習会の開催 ⑤地元工芸家の連絡組織をつくる ⑥文化普及事業推進のための環境整備(敷地内に自然と工芸美を備えた遊歩道を整備する、建物と周辺を一体的に整備し、工芸作品で装飾する)</p>

事業の活動実績	<p>①日本民藝夏期学校の開催(24都府県から124名参加) ②地元工芸家や、県内工芸家の作品を展示する作品展示会開催、8月漆・木工・陶磁・紬・琴・木製品6人展(出品者6人)・11月平和と手仕事展(出品者は地元工芸家20人)来場者300人余 ③佐久市在住音楽家のコンサート開催、12月クリスマスコンサート(3人)来場者60人 ④地域の文化や暮らしなどを取り上げた冊子『平和と手仕事』の発行、6月(68ページ) ⑤陶芸染色講習会開催(7月~12月) ⑥事業実施環境の整備(椅子の購入)</p>
---------	---



平和と手仕事展 2016.11.2~3 多津衛民芸館



日本民藝夏期学校1日目 2016.7.8 多津衛民芸館

事業の成果・効果	<p>「民芸」という言葉を生み、日本民芸館を造った柳宗悦は、職人たちが作った生活に必要なもの、器や布・木製品の中に美しさを発見し、地域の個性あふれた文化の大切さ世に問うた。小林多津衛は若き日から柳に傾注し、自身も民芸の品々を蒐集し、展示会を開き続けた。その多津衛の願いを多くの人が共有し、協力しあって多津衛民芸館は造られた。大量生産大量廃棄が進む現代、「モノの大切さ」を問う民芸運動は、一層重要なものになってきたと思われる。今年度は、日本民藝協会主催の「日本民藝夏期学校」を当館で3日間にわたって開催した。24都府県から実行委員も含め124人が参加した。多くの参加者から感動したという感想をいただいた。佐久市の文化を全国に発信することができ、これを機会に佐久市を訪れたいという人も多く居た。交流人口の創出にも役立ったと思われる。また、事業として展示会やコンサートを開催し、地域の演奏家や工芸家と地域住民の交流を図った。冊子の発行では、多くの人たちに「これからの暮らし」について考えていただける内容を盛り込んだ。地域の、そして全国の人たちの心がつながり、暮らしの文化を考え合う機会が作れたことは、この事業の成果である。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた ○2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた ○2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ○2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>コンサートの開催は1回だけであった。地元工芸家の連絡組織は話し合いの段階である。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>日本民藝夏期学校を成功裡に終了することができた。日本民藝協会理事会でも、とても高い評価を得た。佐久市にある多津衛民芸館が全国の民藝関係者に広まった。また展示会・講習会・コンサートの実施で、多くの市民の交流の場を作ることができた。事業の準備や反省会も含めて、多くの来場者があった。小林多津衛が願っていた「真に豊かな暮らし」「お互いが慈しみ合い、支え合う暮らし」を、地域の中に広めることができた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>日本民藝夏期学校の成功で全国に広まった多津衛民芸館の存在を、一層充実したものにした。全国の民藝関係者との交流を深め、佐久市を訪れる人をさらに増やしたい。展示会やコンサートなどの事業を充実させ、地域の人たちに一層親しまれる館にしていきたい。佐久地方で民芸や工芸を愛好する人たちの拠点になれるよう努力したい。</p>
---------	---